



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市鵜郷1003
TEL. 0466-48-4500

Index

- 新年のご挨拶 P1
- ふくし村まつり・職員研修大会 P2
- せせらぎ会だより・希望のボタン P3
- 希望の郷 40 周年・看護師の独り言 P4

あけましておめでとうございます



新年のご挨拶

理事長 五十嵐 紀子

新年明けましておめでとうございます。

今年は午年、馬の勢いに乗じて今年は役職員一丸となって頑張って参りましょう。

さて、昨年度は「おそごうこころのクリニック」を湘南希望の郷の建物の本部棟部分を改修し開設いたしました。その患者さん達も順調に御利用いただいて、既に1000名を超えました。山本施設長がクリニックのお仕事も兼ねて頂き、頑張ってくださっているおかげと感謝しています。

また、昨年は風邪ひきの入院等があり、職員の皆様も大変だったと思います。今年こそ、こののどかな環境の下で、元気に健やかに毎日を楽しく過ごして行きましょう。

そして、一人一目標、何か目標を持って有意義な一年といたしましょう。

就労の方でもワインが“HIKARI”と名付けられ約120本のフルボトルの販売に張り切っています。

利用者、御家族の皆様をはじめ、関係者の皆様相変わらぬ御支援、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

いざ!!
出陣



ふくし村まつり（文化祭）開催

11月15日（土）今年も待望のふくし村まつりが開催されました。朝早くから模擬店等の準備にふくし村全体が賑やかで、「甘いクレープ食べるんだ」「描いた絵、お母さんに見てもらうんだ」「モルックやってみよう」などソワソワ、ウキウキしながら待っていた住人さんたちですが、開会宣言を耳にすると、早速ボランティアさんたちと繰り出しました。キッチンカーや各種模擬店でヤキソバや焼き鳥、コロッケ、クレープなど思い思いに美味しそうなものをゲットして、満面の笑顔で頬張っています。また、スピードくじや大抽選会もこのふくし村まつりの大きなお楽しみで、住人さんたちは食堂に集まって会場とオンラインでの配信にくぎ付けで、豪華な景品が当たったとはしゃぐ姿があちこちにありました。家族の方々も来てくださって、お互いのつもる話に時のたつのも忘れて楽しいひとときをお過ごしいただけたことと思います。穏やかな秋の一日は楽しさ盛りだくさんの一日となりました。



第43回関東・甲信越地区障害者施設職員研修大会に参加して

第43回関東・甲信越地区障害者施設職員研修大会（山梨県甲府市）に1泊2日で参加してきました。

1日目の実践報告会では神奈川代表として「神奈川県横浜リバーサイド泉・サービス管理責任者連絡会について」の発表があり、サービス管理責任者に求められる多様な相手とのコミュニケーション能力、人材育成、ネットワーク作りのため事例検討を踏まえた専門性向上に繋がる報告でした。

2日目「基調講演（対人援助専門職者のためのセルフケアについて）」では、働く仲間の大切さ、仲間同士で繋がる、関わる、理解する、信じる、話す、気に掛けることが重要であり、サポーターの意識を持つことが職場環境の向上に繋がる。まずは自身に花丸をつけ、自身を大切にすることがセルフケアの第一



歩になる。セルフケアの大切さ、特に役職職員が仲間への気づかいを意識し、その輪が職場全体に広がることで職場全体、安心して働ける環境を整備していくことを実践していきたい。

また、1日目終了後は神奈川県内の施設長の方々と「ほうとう」を含むディナーを食しながら、情報交換をさせていただき有意義な研修となりました。次回は群馬県伊香保温泉だそうです。来年度も立候補したいです！

部長 長野英史

せせらぎ会だより



大寒の火は轟々と刀鍛冶(生)

明けましておめでとうございます

昨年の夏は、今までに経験した事の無い危機的な猛暑に曝されました。近年の地球規模の異常気象は、20 世紀の大量生産大量消費の肥大化した経済成長の陰で、公害問題はじめ自然環境が破壊・汚染されてきた経緯と無関係では有りません。

2020 年、これら 20 世紀が残した負の遺産の反省から、

資源を浪費する社会から、持続可能な社会にシフトしようと、国連が掲げた SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みがスタートしました。しかし、この間も世界情勢は、ますます混迷の度を深めています。周知の通り、世界各地で無差別な殺戮と破壊を繰り返す紛争が今も続いています。

さて、本年は「午年」。そして湘南希望の郷は、開所 40 周年の佳節を迎えます。利用者自治会（せせらぎ会）としても、草創期の伝統を堅持しつつ、時代に即応した豊かな QOL（生活の質）の向上に努めたいと思います。

2026 年が、皆様にとりまして健康第一で充実の年に成ることを衷心よりお祈り申し上げます。

令和八年 元旦 石原生美夫



“年齢”に感じたこと

理療担当 野池 由美子

いつもチャームングで、おもしろ T シャツを着て私たちを和ませてくださる狭間さんからバトンを受け取りました。

湘南希望の郷に入職して、10 年を超え、それだけ年を取ったことにはなりますが、自分の年齢を今までさほど気にすることがありませんでした。でも、最近、Youtuber がアニメの登場人物の設定について話をしているのを聞き流していると、聞き捨てならないことを言いました。漫画サザエさんの波平さんの年齢が「54 歳」だということです。確かに、お孫さんがいて、働いているので、その設定は無理がない年齢です。でも、同年代かあ、、、あの貫禄は、出せないなあ。同級会に行って、波平さんがいるのを想像できない。ちなみにフネさんは「50 歳」だそうです。あの包み込む優しさはないなあ。財布を忘れて買い物には行くんですけどね。ということは、行動は、サザエさんなみの 20 代前半。そんなことを言うと、世間の風当たりが強そうです。

ちなみに、年齢とともに正直なカサカサなお肌ですが、これをしっとりさせる方法があります。カサカサの手をよくよく揉んでいると皮膚からしっとり成分が出てきます。まだ泉は枯れず、隠れているだけのようです。皆さんも試してみてください。

次のバトンは同じく理療担当で湘南希望の郷立ち上げの時から頑張っている叶職員へ繋ぎます。

寒川

すぐお隣の地名が「寒川」なので瀬郷のここも寒いわけだと勝手に納得して、でも「寒川」の地名が気になりました。

この地域に冷たい川があったことから名付けられたとか、寒川神社に祀られている寒川比古命と寒川比女命に由来する、との二つの説が言われているような。

少なくとも平安時代からの書物にも出てくるそうです。いずれにしても山からの吹きおろしなのかこの風は寒いです。昔の人も同じくこの寒さに凍えたのかと思いつつ・・・

2026年湘南希望の郷は40周年を迎えます

湘南希望の郷は1986年(昭和61年)6月1日に開所しました。

開所して1週間目には9割の方が、24日までは50名全員が入所されて、介護する方もされる方もまだまだ不慣れで、てんやわんやのスタートでした。と、当時を知る職員さんは口を揃えたように懐かしみ、積み重ねた年月と様々な出来事に思いを馳せております。

いよいよ本年は40周年という佳節の年です。ここ数年は感染症の対応等に翻弄されて、ゆとりのない日々が多かったと思うところですが、一緒に歩んでくださったご家族様を始めご支援を頂いている方々に心より感謝をいたしますと共に、これからの希望の郷の道を明るく佳きものとなるよう一層のご支援を賜りたくお願いする次第です。

この年を思いも新たに輝かしい出発点となるよう記念とする何かを企画したいと思案しておるところですので、皆様にとっても素晴らしい一年になりますようお祈りいたします。



看護師の 独り言

忘れられないエピソード②

○重症の心不全・腎不全の患者さんが入院してきました。しっかりした飲水制限が必要で、のどが渇いても口を湿らす程度しかあげることができません。本人は相当喉が渇らしく、四六時中ナースコールを鳴らして水の催促をします。頻繁に呼ばれる看護師は半分叱るように水制限のお話をしていきます。

ますが、なかなか我慢が利かないようでナースコールを繰り返します。ところがある時ピタッとナースコールが止まりました。どうしたの？と慌てて見に行ったら、そこにはもっと驚きの光景が。なんと、水枕(当時は茶色のゴム製で中に水を入れて金具で口をとめた物)の水をがぶがぶ飲んでいるではありませんか。その時の本人の何と満足そうな顔。水枕の水、けっして美味しい水な訳ないのに。

○糖尿病で褥瘡ができてしまう事がありますが、この褥瘡用の塗り薬に今ではもちろんいい薬があります。でも、ちょっと昔は看護師がイソジンとグラニュー糖を練り合わせて作っていました。その頃のことです。糖尿病の方は食事制限(カロリー制限)があるので、思いきり食べたくても、甘い物などは我慢しなければなりません。そんな患者さんのお食事時に見回りをすると、その患者さん、ご飯にまるで海苔の佃煮でものせるように、枕元にあった褥瘡用の塗り薬をのせて美味しく食べているじゃありませんか「甘くて旨いねえ」と。なんと幸せそうな顔をしてるやら。

◆1・2月の予定◆

健康課より

1月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	8日(木)
厚誠会歯科検診	6日(火) 13日(火) 20日(火) 27日(火)
御所見病院 手島 Dr.	15日(水) 29日(水)

2月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	5日(木)
厚誠会歯科検診	3日(火) 10日(火) 17日(火) 24日(火)
御所見病院 手島 Dr.	12日(水) 26日(水)



澄んだ空気が気持ちいい朝、いつも通る道からの雪を頂く富士山の神々しい姿に新年の思いを巡らせながら通勤しています。2026年6月、湘南希望の郷は開所して40周年を迎えます。気持ちをあらたに一層努力していきたいなと思います。